



日本実験動物技術者協会 東海支部会報

2013 年 1 号 (通算 48 号)

目次

1. 開催のご案内

- (1) 基本的動物実験手技 (第 6 回) 2

2. 報告事項

- (1) 『第 39 回日本実験動物技術者協会東海支部総会』 3
参加者からの感想文 4
(2) ML 内規策定について 5
(3) 平成 25 年度 第 1 回役員会 5

3. その他

- (1) メーリングリスト登録について 6
(2) 年会費について 6
(3) HP についてのお知らせ 6



1. 開催のご案内

(1) 『実験動物と動物実験 基本的動物実験手技(第6回)』

例年受講者から大変好評を得ております、「実験動物と動物実験 基本的動物実験手技(第6回)」を以下の日程で開催することになりました。

日程：平成25年8月3日(土)～8月4日(日) 2日間

3日(土) 13:00～17:20

4日(日) 9:00～17:00 終日

会場：藤田保健衛生大学 基礎科学実験センター等

講習内容：

- | | |
|----------------------|--------|
| 1) 実験動物概論 | (講 義) |
| 2) 動物実験倫理 | (講 義) |
| 3) 動物実験に関わる法律関係 | (講 義) |
| 4) 実験動物の取り扱いについて | (講 義) |
| 3) 動物の基本的取り扱い | (実技講習) |
| 4) 動物の保定と個体識別 | (実技講習) |
| 5) 麻酔、投与、採血、採尿等の実験手技 | (実技講習) |
| 6) 動物の解剖、臓器摘出方法、安楽死法 | (実技講習) |
| | 他 |

この講習会では、実験動物技術者として欠くことのできない基本的な技術の習得・向上を中心とし、動物実験における技術者の倫理観、心構えなど、日常の業務にすぐに反映できる講習会を目指しております。また、実技研修を通して皆様方の交流の場が提供できればと考えています。

また、今回は受講者からのご要望もあり、マウス・ラットとは別に、**モルモットにおける実技講習も同時開催することになりました**。モルモットの基本的な手技を学びたい方は、是非ご参加ください。なお、モルモットで受講を希望されます方は、モルモット中心の実習になりますのでご注意ください。

多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

*詳細は支部HPでご確認ください。



2. 報告事項

(1) 第39回日本実験動物技術者協会東海支部総会

日 時 : 平成25年4月20日(土) 13:10~17:00
会 場 : 藤田保健衛生大学 外来棟5階会議室

【総会議題】 13:10~13:40

- 第1号議案 平成24年度事業報告
- 第2号議案 平成24年度 収支決算報告・備品目録
および会計監査報告について
- 第3号議案 平成25年度 事業計画(案)について
- 第4号議案 平成25年度 予算(案)について
- 第5号議案 全国総会および支部合併協議会について
- 第6号議案 その他

添付資料の通り承認されました。

【研究会】 13:50~17:00

講演Ⅰ

「実験動物も含まれる研究マテリアルに関する知財トピックス」
国立遺伝学研究所 知的財産室 室長 鈴木睦昭 先生

講演Ⅱ

「実技協の法人化について ―法人化後の本部と支部の運営体制―」
日本実験動物技術者協会理事長 井上 吉浩先生

話題提供・フリーディスカッション

「自動給水等の水漏れについて」



鈴木先生のご講演



井上先生のご講演

【懇親会】 17:15～19:00

場 所 : 藤田保健衛生大学 レストピア

【参加者からの感想文】

参加された方から、講習会の感想をいただきました。

第 39 回日本実験動物技術者協会 東海支部総会・研究会に参加して

日本エスエルシー株式会社
細見 利和

国立遺伝学研究所の鈴木睦昭先生による「実験動物も含まれる研究マテリアルに関する知財トピックス」の講演では、実験動物やそれに基づく知財トピックスを大学間、企業間、大学－企業間で実際にあったトラブル等を例にご説明頂き、実際にこのようなやり取りを行う場合は事前にそれぞれの立場で守る権利をしっかりと MTA（研究材料の移転同意書）で決めておくことがトラブル防止につながるということを知ることができ、大変興味深い内容でありました。また、名古屋議定書のお話もあり、今後も実験資源の取り扱いに注意しなければならないと感じました。

実験動物技術者協会の法人化への説明では法人化に伴うメリットや課題などを、普段そういったことに係わりのない私にも理解できるようにご説明頂き大変勉強になりました。

話題提供の給水関係のトラブルについてでは、自分が生産所で研修を行っていた時を思い出しながら聞き入り、各施設でどのような給水システム・道具を使用しているか、水漏れ・水枯れなどを防ぐための方法などをお教え頂き有意義な時間となりました。

今回のような有益な会に参加させていただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

第 39 回日本実験動物技術者協会東海支部総会に参加して

自然科学研究機構 動物実験センター
窪田 美津子

東海支部総会へは久々の参加となりました。藤田保健衛生大学へは実に十数年ぶりにお邪魔することになり、近代的なビル群が立ち並んで、すっかりと変容していたことが一番の驚きでした。

今回の国立遺伝学研究所の鈴木先生によるご講演の「実験動物も含まれる研究マテリアルに関する知財トピックス」について、MTA、カルタヘナなどの言葉は日々の業務でも多少触れる機会がありますが、知的財産といってもなかなかなじみがなく、ほとんど縁がないと思っておりました。ご講演内容の中でも、

名古屋議定書が「遺伝資源の利用者は、遺伝資源をその国の国内法に従い取得した後、その取得国から国外へ持ち出す際、取得国の法令などを遵守させる必要が、利用国にあるということを規定している」とのことで、その内容の重要性を初めて知り、とても興味深く拝聴いたしました。遺伝子改変動物の国内あるいは海外での授受輸送が増えていることから、研究者間で取り交わされている MTA 等の重要性を、改めて充分理解していなければならないと思いました。井上先生の「実技協の法人化について―法人化後の本部と支部の運営体制―」では、実験動物技術者の資格を国家資格とすることが技術者協会の悲願であることを、以前から伺っておりました。今回のご講演で、それを実現するには、実技協の法人化が必須とのこと。また、実現するにはいくつもの壁があり、それを乗り越えるため多大なご努力をされて、一步一步その目標に近づきつつあるということを、ひしひしと感じました。法人化を達成させるには会員が一致団結して望まなければなりません。会員 1 人 1 人の努力も必要であると感じました。

小木曾先生、長原先生による「自動給水等の水漏れ」については、やはり現場の話であるため、とても参考になりました。技術は進歩していますが、給水事故はなかなかさけることができません。各施設において皆さんのご苦労や、工夫についてお話が聞け、意見交換ができる場合は、大変貴重なものでした。懇親会では、鈴木先生が生理研におられたことに驚き、私の知らない古きよき時代の様子を伺うことができ感無量でした。こうしてこの会に参加させていただく機会が得られましたこと到大変感謝しております。支部役員の皆様のご努力に厚くお礼を申し上げます。

（２）ML 内規策定について

東海支部では、会員の皆様のメールアドレスをメーリングリスト（ML）に登録し、会報の発信等を行ってきましたが、このたび別紙のとおり支部 ML 内規を策定することになりました。ML 会員の皆様は是非ご確認くださいませようお願いします。

（３）平成 25 年度第 1 回東海支部役員会

日 時：平成 25 年 4 月 20 日（土）10:00～12:00

場 所：藤田保健衛生大学外来棟 5 階会議室

議 題：

- 1, 第 39 回支部総会について
- 2, 第 49 回全国総会担当について
北陸支部との合併協議会の立ち上げと参加について

3. その他

(1) メーリングリスト登録について

東海支部では従来よりPDF会員と称し、ご希望があった会員の皆様のメールアドレスをメーリングリスト（ML）に登録し、会報の発信等を行ってきました。最近では多方面からの情報の配信の必要性もあり、今後は会報のみならずさまざまな情報を発信していく予定です。郵送による情報の提供よりも早く、またML会員だけに送られる情報もありますので、ぜひMLに登録していただきますようご協力をお願いします。なお、お知らせいただきました個人情報（メールアドレス等）はMLのみに使用し、他には一切使用いたしません。

*ML登録希望の方は、東海支部事務局までe-mailにてお申し込みください。

事務局 e-mail mailtokai@jaeat-tokai.org

(2) 年会費について

本協会は会員の皆様の会費により運営されています。本年度の会費が未納の方は至急お振込みをお願いいたします。

年会費：6,000円

振込先 名 称 : 日本実験動物技術者協会
口 座 : 00130-9-102291
取扱機関 : 落合郵便局

(3) HPについてのお知らせ

東海支部では、支部の活動やさまざまな情報をより早くお知らせするため、支部HPを活用しております。随時更新していきますので、ぜひ皆様もご覧ください。

また、ご意見、ご希望がありましたら東海支部事務局（担当：羽根田）までお知らせください。

支部HP <http://www.jaeat-tokai.org>





Japanese Association for Experimental Animal Technologists TOUKAI-branch

2013 年 5 月 No. 48

< 発行者 > 支部長 前田 典彦

< 発行所 > 日本実験動物技術者協会東海支部

< 事務局 > 事務局長 羽根田 千江美

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

藤田保健衛生大学 疾患モデル教育研究センター

TEL&FAX 0562-93-9398

e-mail : mailtokai@jaeat-tokai.org

HP : <http://www.jaeat-tokai.org>